

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	幼稚園教育総務運営事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	幼稚園園児・教職員	意図	幼稚園における計画的・効率的な幼稚園運営、事務の執行を図る。
事業内容	需用費、役員費等を配当することで、計画的・効率的な幼稚園の運営、事務の執行を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度末で1園が廃園とおなり、現在は幼児教育支援センター附属幼稚園1園のみが運営を行っている。附属幼稚園の園舎は建替えにより、平成23年9月より使用開始している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果	教育環境を良好に維持するとともに、幼稚園教育の円滑な運営に大きく貢献している。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 需用費、役員費等を配当しており、幼稚園における計画的・効率的な幼稚園運営が行われている。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,605,894	2,889,096	2,543,276			
事業費(b)(円)		751,674	753,266	775,452			
うち一般財源		751,674	753,266	775,452			
職員給与費(c)(円)		2,854,220	2,135,830	1,767,824			
人役・職員(人)		0.39	0.29	0.24			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.05	0.10	0.10			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	財務規則等に従い、予算の執行が適性かつ効率的に行われるよう努める。
今年度(H26)に実施した取り組み	幼稚園配当予算の執行に当たっては、伝票処理による予算執行の手順等を記載した手引きを配布した。

取り組みの課題	消費税の増税などもあり、経費の削減が困難な状況である。
今後の改善計画	財務規則等に従い、予算執行が適正かつ効率的に行われるように努める。